

令和6年度

全国学力・学習状況調査結果の概要

令和6年7月

高知県教育委員会

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 実施日 教科に関する調査 令和6年4月18日(木)

児童生徒質問調査 令和6年4月10日(水)～4月30日(火)

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査を実施

(4) 県内(公立学校)の参加状況

- ◇ 参加学校数

小学校

市町村(学校組合)立小学校	義務教育学校	特別支援学校(小学部)	合計
173校	4校	3校	180校

中学校

市町村(学校組合)立中学校、 県立中学校	義務教育学校	特別支援学校(中学部)	合計
89校	4校	2校	95校

<参加校数>

・小中学校	262校
・義務教育学校	4校
・特別支援学校	3校
計	269校

※義務教育学校は、小・中学校の義務教育を9年間の一貫したカリキュラムで運営する学校であり、小・中ともに実施する学校が4校であるため、合計が4校となっている。

※特別支援学校は、1校の中に小学部や中学部があり、小学部・中学部ともに実施する学校が2校、小学部のみ実施する学校が1校であるため、合計が3校となっている。

- ◇ 小学校解答(回答)児童数

国語	4,553名
算数	4,552名
児童質問	4,806名

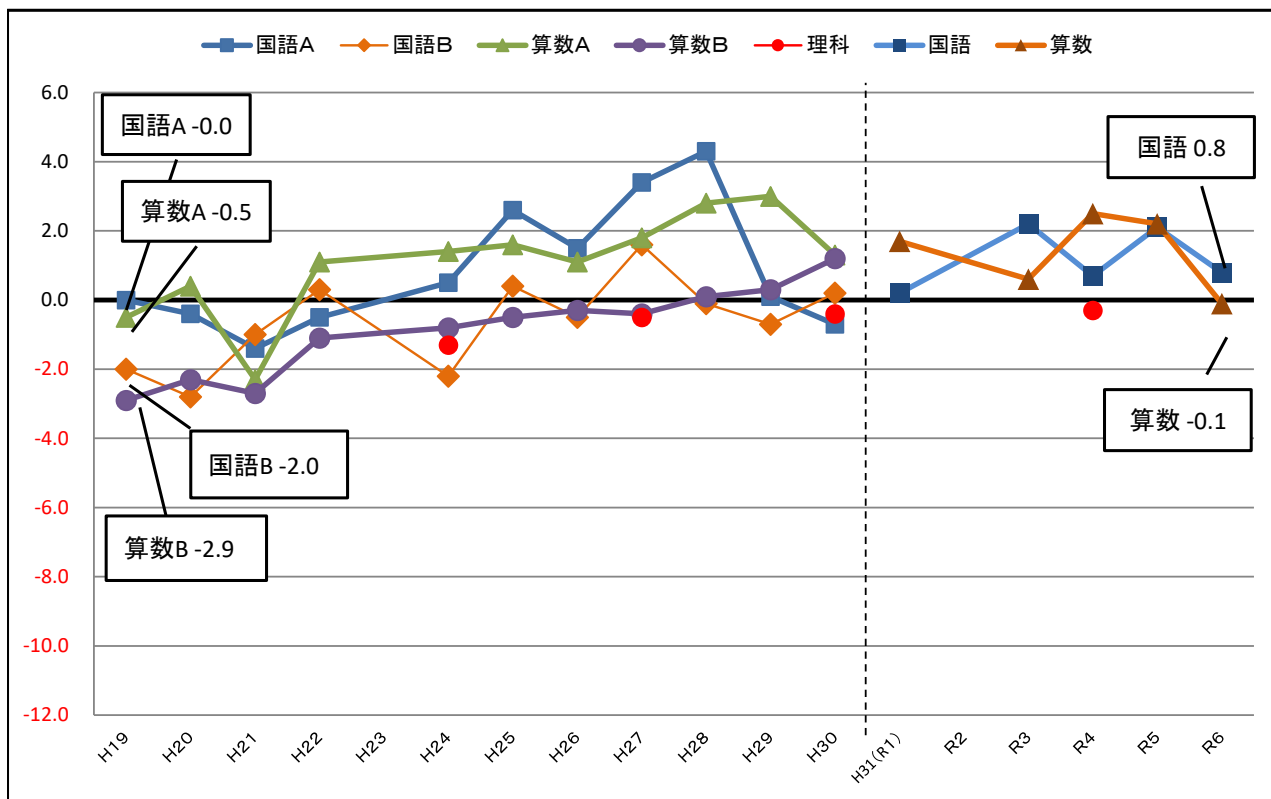
- ◇ 中学校解答(回答)生徒数

国語	3,582名
数学	3,581名
生徒質問	3,778名

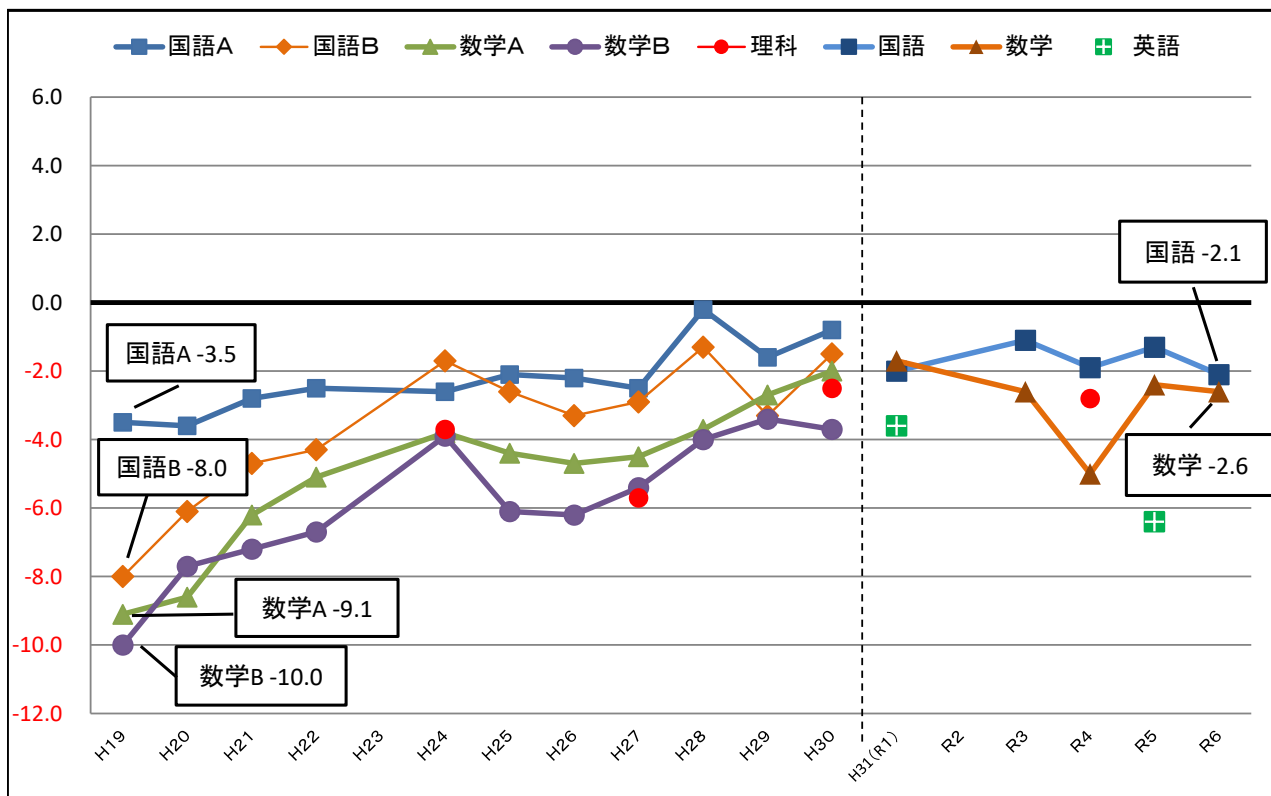
※宿毛市立の小中学校(小学校7校、中学校5校)は、4月17日に発生した豊後水道を震源とする地震の影響により臨時休校になったため、教科調査は後日実施となった。したがって、教科調査の全体集計に宿毛市立の小中学校の結果は含まれていない。

平成19年～令和6年度 全国平均正答率との差(高知県平均正答率)

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国の値はない。)

※平成31年度(令和元年度)よりABが統合。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

教科別平均正答率【小学校】

小学校(国語・算数)						
	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
令和6年度	68.5	67.7	0.8	63.3	63.4	-0.1
令和5年度	69.3	67.2	2.1	64.7	62.5	2.2
令和4年度	66.3	65.6	0.7	65.7	63.2	2.5
令和3年度	66.9	64.7	2.2	70.8	70.2	0.6
平成31(令和元)年度	64.0	63.8	0.2	68.3	66.6	1.7

		国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差
		高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
A	平成30年度	70.0	70.7	-0.7	64.8	63.5	1.3
	平成29年度	74.9	74.8	0.1	81.6	78.6	3.0
	平成28年度	77.2	72.9	4.3	80.4	77.6	2.8
	平成27年度	73.4	70.0	3.4	77.0	75.2	1.8
	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
B	平成30年度	54.9	54.7	0.2	52.7	51.5	1.2
	平成29年度	56.8	57.5	-0.7	46.2	45.9	0.3
	平成28年度	57.7	57.8	-0.1	47.3	47.2	0.1
	平成27年度	67.0	65.4	1.6	44.6	45.0	-0.4
	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8

小学校(理科)			
	理科平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
令和4年度	63.0	63.3	-0.3
平成30年度	59.9	60.3	-0.4
平成27年度	60.3	60.8	-0.5
平成24年度	59.6 (58.8~60.4)	60.9 (60.8~61.1)	-1.3

※平成24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成31年度よりAB統合

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

教科別平均正答率【中学校】

中学校(国語・数学)						
	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
令和6年度	56.0	58.1	-2.1	49.9	52.5	-2.6
令和5年度	68.5	69.8	-1.3	48.6	51.0	-2.4
令和4年度	67.1	69.0	-1.9	46.4	51.4	-5.0
令和3年度	63.5	64.6	-1.1	54.6	57.2	-2.6
平成31(令和元)年度	70.8	72.8	-2.0	58.1	59.8	-1.7

		国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
		高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
A	平成30年度	75.3	76.1	-0.8	64.1	66.1	-2.0
	平成29年度	75.8	77.4	-1.6	61.9	64.6	-2.7
	平成28年度	75.4	75.6	-0.2	58.5	62.2	-3.7
	平成27年度	73.3	75.8	-2.5	59.9	64.4	-4.5
	平成26年度	77.2	79.4	-2.2	62.7	67.4	-4.7
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
B	平成30年度	59.7	61.2	-1.5	43.2	46.9	-3.7
	平成29年度	68.9	72.2	-3.3	44.7	48.1	-3.4
	平成28年度	65.2	66.5	-1.3	40.1	44.1	-4.0
	平成27年度	62.9	65.8	-2.9	36.2	41.6	-5.4
	平成26年度	47.7	51.0	-3.3	53.6	59.8	-6.2
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9

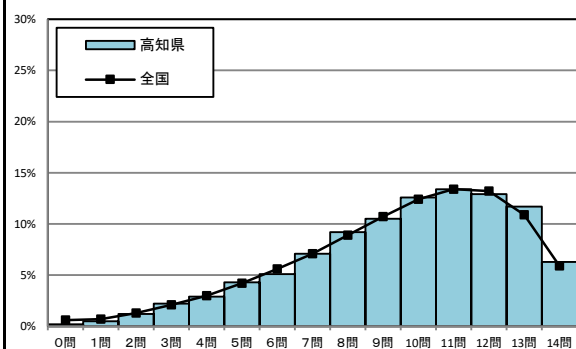
中学校(英語)			
	英語平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
令和5年度	39.2	45.6	-6.4
令和元年度	52.4	56.0	-3.6

中学校(理科)			
	理科平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
令和4年度	46.5	49.3	-2.8
平成30年度	63.6	66.1	-2.5
平成27年度	47.3	53.0	-5.7
平成24年度	47.3 (46.5~48.0)	51.0 (50.9~51.1)	-3.7

各教科に関する学力の状況

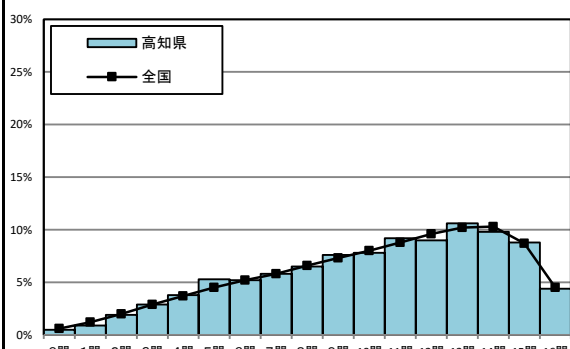
〔小学校国語〕 正答数分布の状況

国語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,553	9.6	68.5	10.0	3.0
全国	947,364	9.5	67.7	10.0	3.1

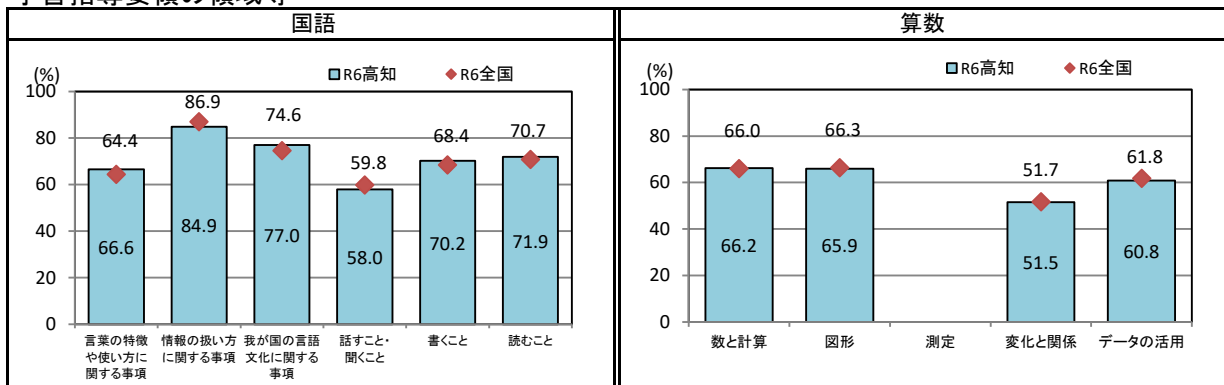


〔小学校算数〕

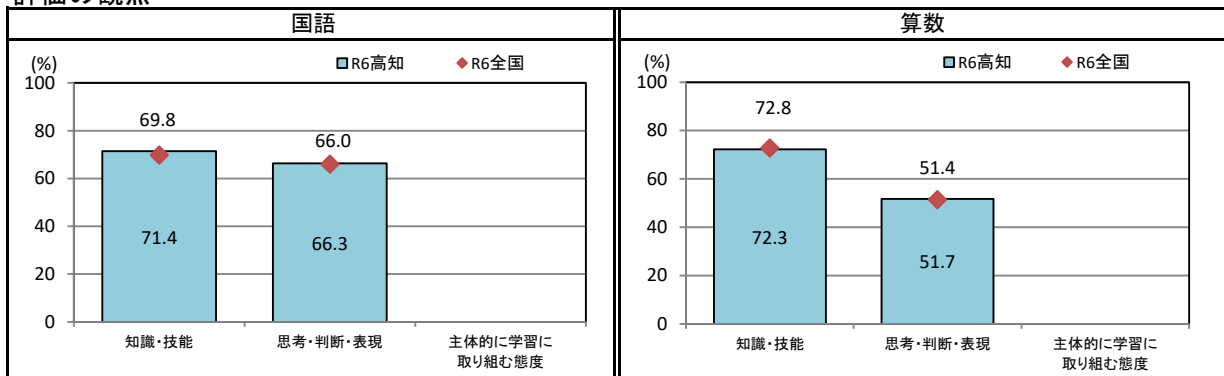
算数	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,552	10.1	63.3	11.0	3.9
全国	947,579	10.1	63.4	11.0	3.9



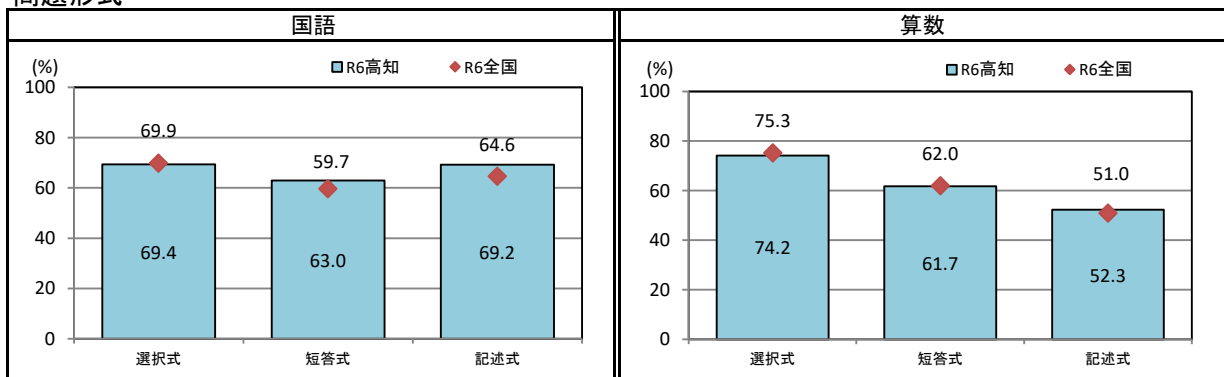
学習指導要領の領域等



評価の観点



問題形式



小学校 国語

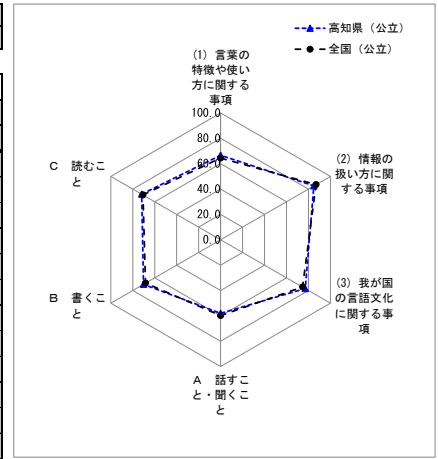
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県（公立）	全国（公立）	対象児童数	高知県（公立）	全国（公立）
	173	18,466		4,553	947,364

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				高知県(公立)	全国(公立)
全体			14	68.5	67.7
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	4	66.6	64.4
		(2) 情報の扱い方に關する事項	1	84.9	86.9
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	1	77.0	74.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	58.0	59.8
		B 書くこと	2	70.2	68.4
		C 読むこと	3	71.9	70.7
評価の観点		知識・技能	6	71.4	69.8
		思考・判断・表現	8	66.3	66.0
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	10	69.4	69.9
		短答式	2	63.0	59.7
		記述式	2	69.2	64.6

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等									高知県（公立）	全国（公立）	全国正答率との差（公立）	高知県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に取り組む 態度	選択式	短答式	記述式					
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかをみる				5・6 ア				○		○			60.8	62.5	-1.7	0.2	0.7
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5・6 イ							○		○			74.3	75.9	-1.6	0.2	0.6
1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかをみる				5・6 ウ				○		○			51.1	52.9	-1.8	0.2	0.7
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6 ア				○		○			62.1	63.8	-1.7	0.3	0.9
2一 (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				5・6 ア				○		○			80.0	80.3	-0.3	0.2	0.9
2一 (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6 イ							○		○			84.9	86.9	-2.0	0.3	0.9
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6 ウ				○			○		60.4	56.6	3.8	2.9	4.9
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（きょうぎ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ							○			○		43.7	43.4	0.3	8.1	13.2
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す（なげる）		5・6 エ								○		○		82.2	76.0	6.2	3.6	8.0
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	3・4 カ							○		○			66.3	62.3	4.0	0.7	2.0
3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか述べていると考えられるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				5・6 イ				○		○			65.3	66.9	-1.6	0.9	2.6
3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかをみる				5・6 エ				○		○			72.4	72.5	-0.1	1.0	2.9
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかをみる				5・6 エ				○			○		78.1	72.6	5.5	7.1	12.6
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができるかどうかをみる	5・6 オ							○		○			77.0	74.6	2.4	2.8	7.6

令和6年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 小学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
選択	2－(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

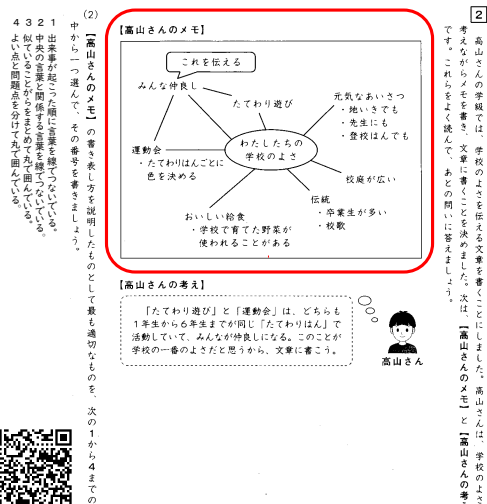
高山さんが考えを明確にするために、中央に書いた「わたしたちの学校のよさ」という言葉と関係する言葉を線でつないでいることを捉えることができた児童の割合は、84.9%であった。本問題は、令和5年度の小学校国語大問2三において課題となっていた（正答率：高知県61.0%／全国62.0%）。図などを使って情報を整理したり、その関係を捉えたりするよう指導の改善が図られたと考えられる。授業において、児童が情報を整理する際、本問題にあるようにマッピングの方法を自ら選択して学ぶ姿も見られる。多様な思考・判断・表現の場面で、情報を整理するための知識及び技能が発揮されるよう、題材や学習過程が工夫されている成果だと考える。

さらに向上するには

様々な図示の方法に触れることを通して、児童がそれぞれの方法で考えを明確にしたり思考をまとめたりすることができることを理解し、使うことができるよう指導する。

➡「令和6年度【小学校国語】報告書」大問2 授業アイディア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24plang_idea_02.pdf#page=11



令和6年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 小学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
選択	1 二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

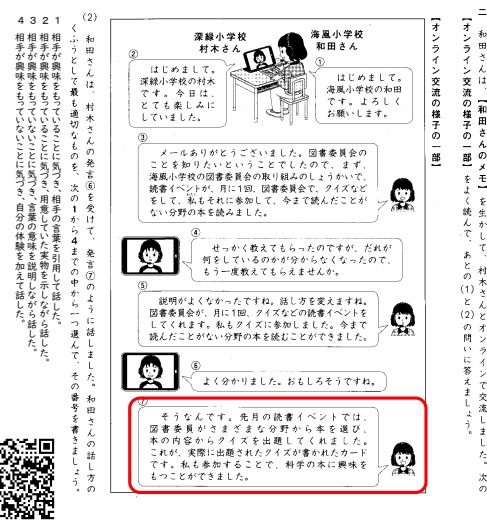
和田さんが、相手が興味をもっていることに気付いたことを捉えることはできたが、用意していた実物を示しながら話したことを捉えることができず、1を選択した児童の割合が29.7%、4を選択した児童が15.7%であった。1を選択した児童の中には、「引用」の意味が正確に理解できていない児童もいると考えられる。また、4を選択した児童は、村木さんの発言⑥が短い発言であったことなどから、和田さんの話した内容に興味をもっていないと捉えた児童もいたと考えられる。

問題に答える場合においては、多様な文章形式に触れさせ、設定された場面や状況を理解し、文章を正確に読み取る力が身に付くよう指導することも必要である。

相手や目的を一層意識させ、音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量などを予想したり、聞き手のうなずきや表情などの反応にも注意したりしながら話を進めることができるような指導を充実させる。

➡「令和6年度【小学校国語】報告書」 大問1 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24plang_idea_01.pdf#page=11



小学校 算数

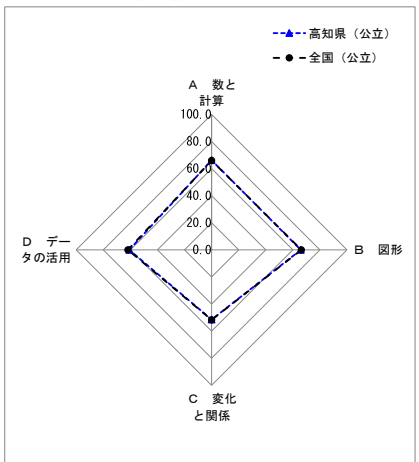
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県（公立）	全国（公立）	対象児童数	高知県（公立）	全国（公立）
	173	18,466		4,552	947,579

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			高知県（公立）	全国（公立）
全体		16	63.3	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.2	66.0
	B 図形	4	65.9	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	51.5	51.7
	D データの活用	4	60.8	61.8
評価の観点	知識・技能	9	72.3	72.8
	思考・判断・表現	7	51.7	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	74.2	75.3
	短答式	7	61.7	62.0
	記述式	4	52.3	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



(注)「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県（公立）	全国（公立）	全国正答率との差（公立）	高知県（公立）	全国（公立）
1 (1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2 (2) ア(エ)					○			○			61.1	62.1	-1.0	0.1	0.2
1 (2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	3 (7) ア(フ)					○			○			86.6	88.5	-1.9	0.1	0.3
2 (1)	350×2=700であることを基に、350×16の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3 (9) イ(フ)						○				○	62.5	56.9	5.6	2.1	3.4
2 (2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5 (3) ア(フ)					○			○			69.4	69.1	0.3	0.5	1.3
3 (1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	4 (2) ア(ウ)					○			○			84.4	85.5	-1.1	0.3	0.6
3 (2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	5 (1) ア(エ)					○			○			69.8	71.3	-1.5	0.5	0.8
3 (3)	直径2cmのボールがびったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さとして立方体の一方の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	3 (1) ア(ウ) 5 (4) ア(イ) イ(フ)						○				○	35.6	36.5	-0.9	5.0	9.8
3 (4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	5 (2) ア(フ) イ(フ)					○					○	73.8	72.0	1.8	1.1	1.8
4 (1)	540÷0.6を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5 (3) ア(イ)					○					○	71.3	70.1	1.2	1.4	3.1
4 (2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる				5 (1) イ(フ) 5 (2) イ(フ)		○					○	70.8	70.0	0.8	1.8	3.3
4 (3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				5 (2) ア(フ) イ(フ)		○					○	31.3	31.0	0.3	1.0	2.4
4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる				5 (2) ア(フ)		○					○	52.4	54.1	-1.7	2.8	4.6
5 (1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる					5 (1) ア(フ)	○					○	82.9	80.8	2.1	0.8	1.8
5 (2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる					3 (1) ア(フ)	○					○	72.5	73.3	-0.8	2.0	3.9
5 (3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる					3 (1) イ(フ) 4 (1) ア(イ)	○					○	41.6	44.0	-2.4	8.6	12.6
5 (4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる	2 (1) イ(フ)				3 (1) ア(フ)	○					○	46.3	49.3	-3.0	1.9	4.0

令和6年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 小学校算数

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
記述	3 (4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる

< 分析・考察 >

五角柱の面の数について、底面と側面がそれぞれいくつあるのかが分かるように、言葉と数を使って書く問題において、全国の正答率を上回った。このことから、図形を構成する要素に着目し、底面や側面といった用語を用いて角柱の性質を説明させるような指導が進んでいることがうかがえる。また、本問題では、三角柱の面の数について説明した「ことねさん」の発言や、解答の条件として「側面」、「底面」の2つの言葉を使用することが示されていたことも、正答率が高かった要因と考えられる。

さらに向上するには

図形を構成する要素や図形どうしの関係に着目し、筋道立てて問題を解決できるよう指導する。

「令和6年度【小学校算数】報告書」大問3 授業アイデア例
https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24pmath_idea_03.pdf#page=14



(4) ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。



三角柱



四角柱



五角柱



ことね 三角柱の面は5つです。三角柱には、底面が2つ、側面が3つあるからです。



はると 四角柱の面は6つです。



ひより 五角柱の面はいくつかな。

五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。

また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかがわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。

令和6年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 小学校算数

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
短答	4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる

< 分析・考察 >

自転車の速さが、家から郵便ポストまで分速200m、郵便ポストから図書館まで分速200mであるとき、家から図書館までの速さを分速400mと解答した児童の割合が26.9%であった。このことから、速さなどの単位量当たりの大きさの意味について理解できていないことがうかがえる。指導に当たっては、速さの意味に基づいて、速さを単位時間当たりに移動する長さとして捉えること、求めた速さが妥当かどうかを問題場面に戻って判断することが大切である。また、「道のり」と「時間」の関係を考察し、二つの数量の間に比例関係があること、速さは一定であることを表に整理するなどして確認することが必要である。

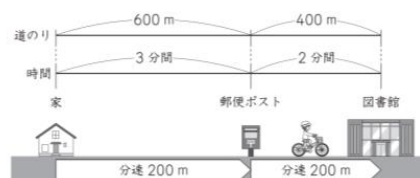
道のりと時間の関係に着目し、問題場面や図、式を関連付けて、求めた速さの妥当性を検討できるよう指導する。

「令和6年度【小学校算数】報告書」大問4 授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24pmath_idea_04.pdf#page=17



(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通過して図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。

答えを書きましょう。

令和6年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 小学校算数

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
短答	5 (4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる

< 分析・考察 >

ウには正しい式である3を選択できたものの、エには計算結果である605を記載した児童がみられた。このような解答状況から、桜がいつ開花するかを知りたくて、桜の開花予想日を調べていることを捉えられず、計算の結果をそのまま書いたということが考えられる。授業においては、児童の身近な場面から、解決すべき事柄や調べてみたい問題を設定することが大切である。その際、目的に応じてデータを読み取り、データのどの数値から立式し、どのように考えて判断したのかを他者に分かるように伝え合ったり、導き出した結論の妥当性を考察したりする授業づくりを進めることが必要である。

日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温(度)	21	20	15	14

こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、から、桜の開花予想日は3月日です。

上の○に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の○に入る数を書きましょう。

- 1 $549 + 21$
- 2 $549 + 21 + 20$
- 3 $549 + 21 + 20 + 15$
- 4 $549 + 21 + 20 + 15 + 14$

統計的な問題解決の方法を進んで生活に生かす。



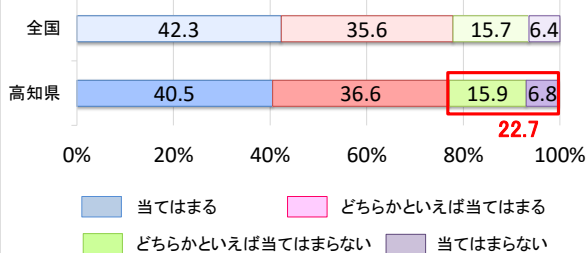
「令和6年度【小学校算数】報告書」大問5 授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24pmath_idea_05.pdf#page=12

令和6年度全国学力・学習状況調査 小学校算数

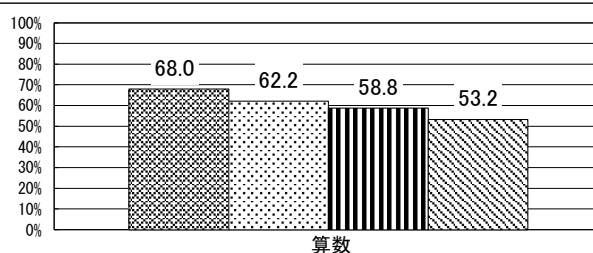
児童質問調査

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。



否定的に回答したグループの割合は22.7%であり、算数の学習が生活で活用できることを実感していない児童が一定いることがうかがえる。

児童質問調査×正答率クロス集計



- ☐ 1. 当てはまる
 ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる
☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 4. 当てはまらない

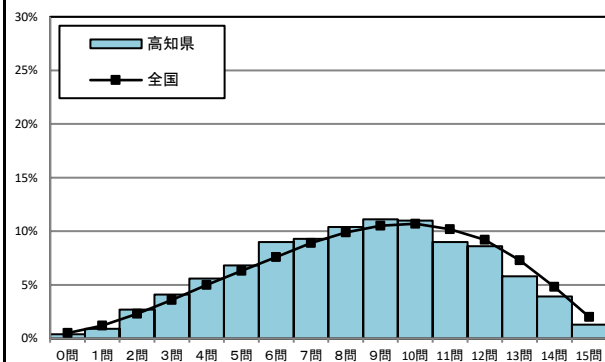
肯定的に回答したグループの方が正答率が高い。

日常生活の問題を算数で解決したり、解決結果を問題の場面と照らし合わせて妥当かどうかを判断したりする活動の充実を図ることが重要である。

各教科に関する学力の状況

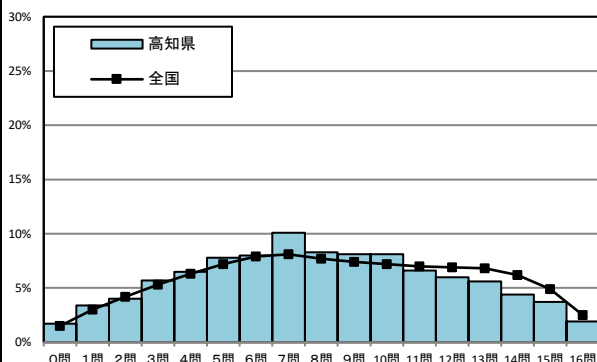
〔中学校国語〕 正答数分布の状況

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	3,582	8.4	56.0	9.0	3.3
全国	875,574	8.7	58.1	9.0	3.4

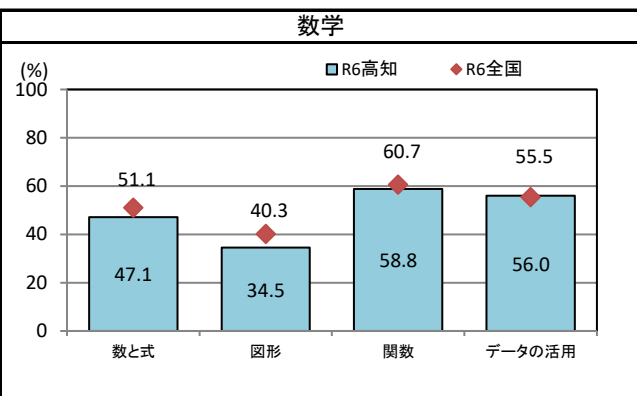
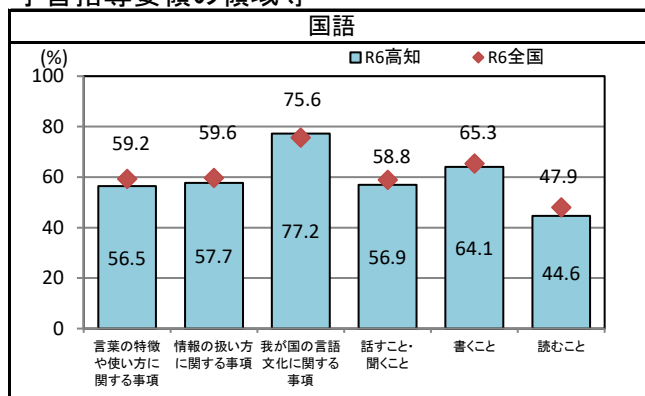


〔中学校数学〕

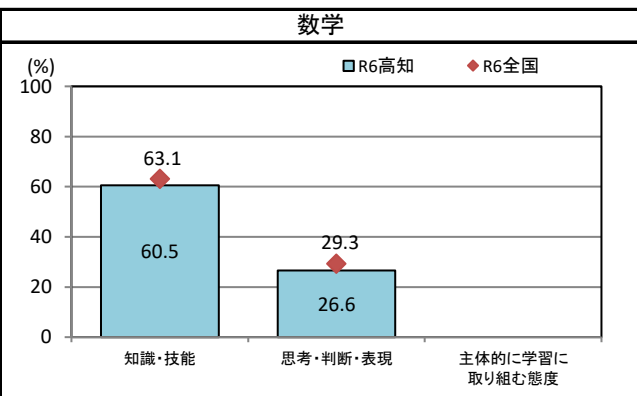
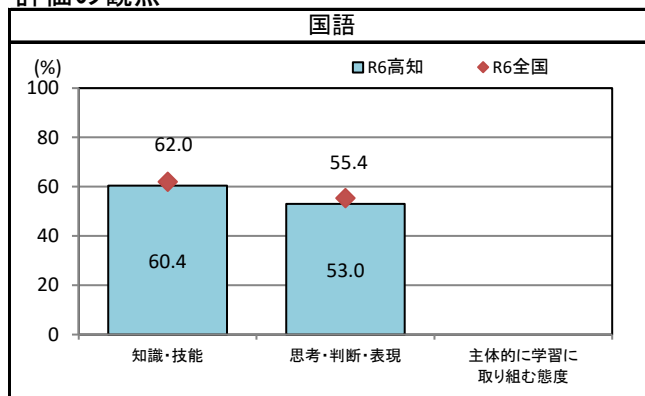
数学	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	3,581	8.0	49.9	8.0	4.0
全国	875,952	8.4	52.5	8.0	4.1



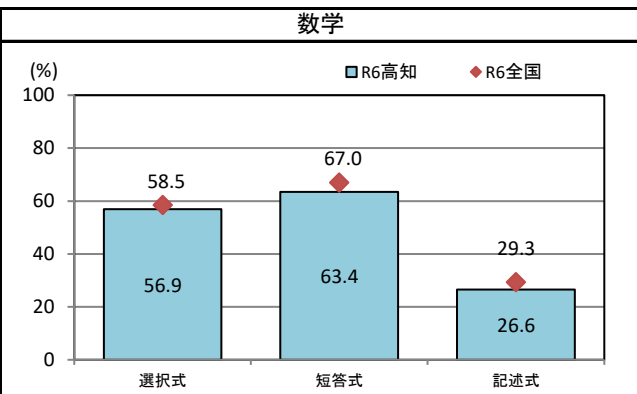
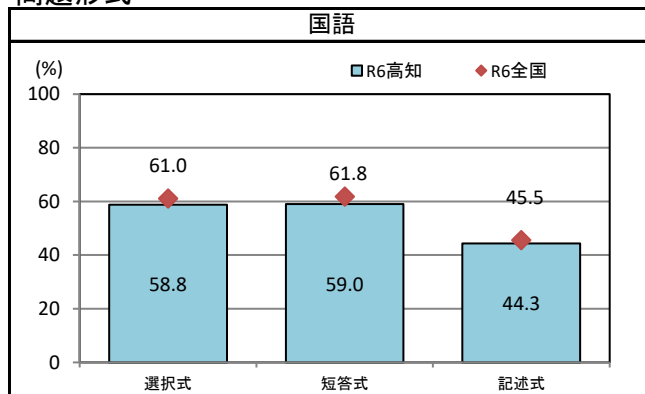
学習指導要領の領域等



評価の観点



問題形式



中学校 国語

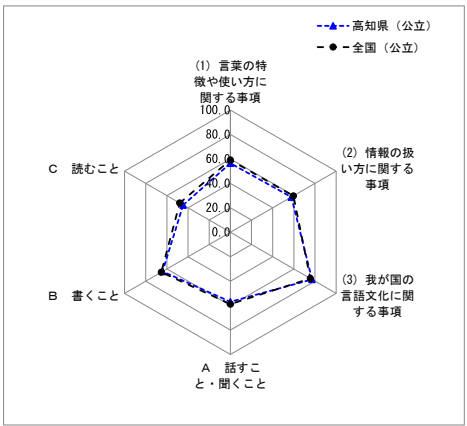
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	高知県（公立）	全国（公立）
	90	9,268		3,582	875,574

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				高知県（公立）	全国（公立）
全体			15	56.0	58.1
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	56.5	59.2
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	57.7	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	77.2	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	56.9	58.8
		B 書くこと	2	64.1	65.3
		C 読むこと	4	44.6	47.9
評価の観点	知識・技能	6	60.4	62.0	
	思考・判断・表現	9	53.0	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	58.8	61.0	
	短答式	3	59.0	61.8	
	記述式	3	44.3	45.5	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県（公立）	全国（公立）	全国正答率との差（公立）	高知県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと											
1一	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1エ			○			○			58.7	63.2	-4.5	0.1	0.4
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる				2ウ			○			○			64.2	68.5	-4.3	3.7	3.5
1三	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	1ア						○			○			41.4	44.0	-2.6	0.1	0.5
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1オ			○				○		47.8	44.7	3.1	8.4	9.9
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる					2ウ		○			○			33.9	36.3	-2.4	0.2	0.5
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	2ア						○			○			74.1	75.2	-1.1	0.2	0.6
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる					2ア		○			○			60.4	64.5	-4.1	0.3	0.6
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる					1ウ		○				○		36.6	42.6	-6.0	6.6	8.4
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				1ア			○			○			79.6	81.4	-1.8	0.3	0.7
3二	物語の下書きについて、文中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる	2オ						○			○			51.8	53.8	-2.0	0.7	1.0
3三	漢字を書く（ひちたりた）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ						○				○		65.2	68.8	-3.6	8.5	10.2
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる				2ウ			○				○		48.6	49.3	-0.7	13.9	15.0
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる	1オ						○			○			52.4	54.9	-2.5	1.7	1.8
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				1イ			○				○		47.5	48.3	-0.8	3.5	3.4
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる			1エ(4)				○				○		77.2	75.6	1.6	2.0	2.3

令和6年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 中学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
選択	2 二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる

< 分析・考察 >

文章の内容を把握するために、文脈の中で具体と抽象の関係を捉えながら読むことができた生徒の割合が74.1%であった。このことから、「具体」、「抽象」という言葉の意味を理解するだけでなく、他教科等や日常生活とつなげて考えるなど、身近な例を取り上げて概念まで理解できるような指導が行われていると考えられる。また、知識及び技能の指導事項として取り上げて指導するだけでなく、思考力・判断力・表現力等の指導事項と関連を図り、実際に読んだり書いたりする中で具体的に捉えることができるように指導されている成果だと考える。



さらに向上するには

「具体」や「抽象」を表す言葉（部分）に着目するだけでなく、記述されている接続語にも着目する等して、なぜそれが「具体」と「抽象」の関係にあるのかを説明できるよう指導する。

今「問題となっているのは「形」ですか。」「二次的（金銭的）な形、三次元的な形（み）の方向の「形」に分けることはできません。つまり、先ほど挙げた例であれば「箱形の」「先のとがった」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのあし」「針のよな」「手のひらのような」「は平面の形の形、」「薄く」「厚い」「厚み」「厚さ」「厚さの方向の形」です。

二 線部①と線部②の関係を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 線部②で、線部①の内容を抽象的に言い換えている。
2 線部②で、線部①の内容を具体的に言い換えている。
3 線部②で、線部①の内容についての推測を述べている。
4 線部②で、線部①の内容についての意見を述べている。

令和6年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 中学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
記述	2 四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

文章の内容を解釈するために要約する際、〈着目する内容〉についてまとめて書いているものの、必要な情報を適切に取り上げて書けていない生徒の割合が44.6%であった。例えば、取り上げる情報が不足していたり、文章の内容を誤って捉えていたりする誤答が見られた。このことから、文章全体の内容を正確に把握したうえで、要約する目的を明確にし、その目的に応じて必要な情報を適切に取り出して、それが適切かを確認する指導が十分でないと考えられる。要約した記述が、目的に沿って十分な情報が入っているか、文章の内容を正確に捉えているか等を吟味する指導を充実させる必要がある。

【イの誤答例】

筆者は、数学や物理学、それに科学の一部は、普遍性の学問だと述べている。（取り上げる情報が不足）
筆者は、数学や物理学などが多様性の学問であるのに対し、生物学は普遍性の学問だと述べている。
（文章の内容を誤って捉えている→文章の内容把握が十分でない）



小学校段階の指導事項を踏まえたうえで、目的を明確にして要約し、目的に応じた情報について記述を吟味できるよう指導する。



四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらかを選んで）かまいません。要約しなさい。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて、筆者が、数学や物理学などと生物学とは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

要約するとは、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることである。

【小学校学習指導要領解説 国語編】

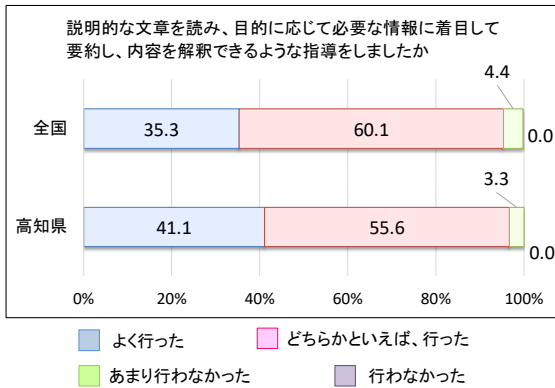
「令和6年度【中学校国語】報告書」大問2 授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mlang_idea_02.pdf#page=12

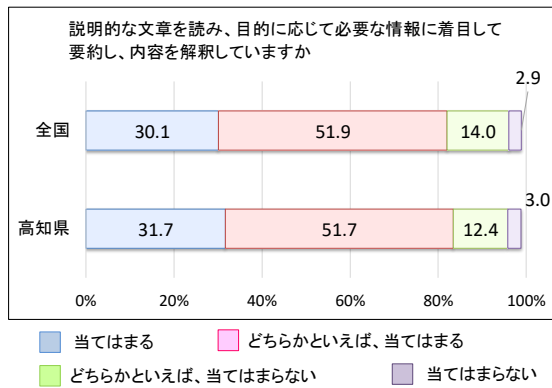
大問2四

本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する

学校質問調査



生徒質問調査



- 「説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること」について、質問調査結果では、教員も生徒も80%以上が肯定的な回答をし、全国と比較しても高いが、平均正答率は全国平均正答率より低い（正答率：高知県36.6%／全国42.6%）。
- 目的に応じて必要な情報に着目した要約ができていないか、単元の途中で実現状況を把握し（学習評価を行う等）、手立てを講じたうえで、その後の指導や学習に生かすことが必要である。

中学校 数学

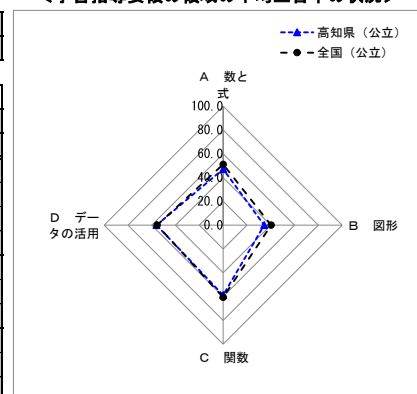
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数			対象生徒数		
高知県（公立）		全国（公立）	高知県（公立）		全国（公立）
90		9,265	3,581		875,952

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
			高知県（公立）	全国（公立）
全体		16	49.9	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	47.1	51.1
	B 図形	3	34.5	40.3
	C 関数	4	58.8	60.7
	D データの活用	4	56.0	55.5
評価の観点	知識・技能	11	60.5	63.1
	思考・判断・表現	5	26.6	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	56.9	58.5
	短答式	6	63.4	67.0
	記述式	5	26.6	29.3

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県（公立）	全国（公立）	全国正答率との差（公立）	高知県（公立）	全国（公立）
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	2(1) ア(1)				○				○		28.1	34.8	-6.7	11.8	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	2(1) ア(2)				○				○		51.0	52.5	-1.5	6.5	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	回転移動について理解しているかどうかをみる		1(1) ア(4)			○			○			64.4	68.3	-3.9	0.1	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる			2(1) ア(7)		○			○			62.2	65.3	-3.1	0.4	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる				2(2) ア(4)	○				○		67.7	73.1	-5.4	3.3	4.2
6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	1(1) ア(7)				○				○		88.8	90.2	-1.4	2.0	2.5
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○				○		29.8	35.9	-6.1	20.1	23.5
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に入れた整数の和が□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○				○		37.6	41.8	-4.2	23.2	29.6
7(1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる				46(1) ア(7)	○				○		73.0	74.3	-1.3	4.6	5.8
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○				○		29.0	25.9	3.1	21.4	29.4
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる				2(1) ア(7)	○			○			54.3	48.5	5.8	0.4	0.9
8(1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値を表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる			2(1) ア(7)		○			○			81.3	83.4	-2.1	0.3	0.8
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			2(1) イ(4)		○				○		19.8	17.1	2.7	10.4	16.4
8(3)	結衣さんがかけたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる			2(1) ア(7)		○				○		72.0	76.9	-4.9	3.2	3.8
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる		2(2) イ(4)			○				○		17.0	25.8	-8.8	30.2	33.6
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる		2(2) ア(4) イ(7)			○			○			22.2	26.7	-4.5	4.9	4.5

令和6年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 中学校数学

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
短答	6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

昨年度も同じ趣旨の問題について平均正答率が8割を超えており、取組の成果が表れている。

本問題のように、○に具体的な数を入れて、いくつかの場合を調べる数学的活動の見通しの場面を設定し、「○に入れた整数の和がどんな性質になるのか」を帰納的に考え、成り立つ性質を見いだす授業が行われていることがうかがわれる。

学習指導に当たって 大問6を通して

具体的な数を入れて成り立ちそうな事柄を予想し、事柄が成り立つ理由について文字を用いて説明する。さらに、条件を変えて新たな事柄を明らかにするなど、統合的・発展的に考察できるよう指導する。

(1) 下の図の□に入る整数を求めなさい。

計算の例

3つの○に1、3、6を入れると
3つの□にはそれぞれ
1+3、3+6、6+1
の計算結果が入る。
だから、3つの□には4、9、7
が入る。

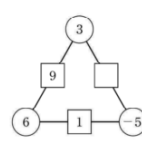
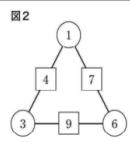


図3

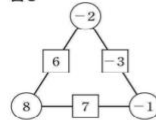
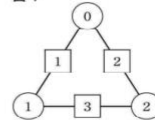


図4



千夏さんは、図2、図3、図4を見ながら、○に入れた整数の和と□に入る整数の和の間に何か関係があるのではないかと考え、次のように調べてみました。

「令和6年度【中学校数学】報告書」 大問6 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath_idea_06.pdf#page=11

令和6年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 中学校数学

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
記述	9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ=PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

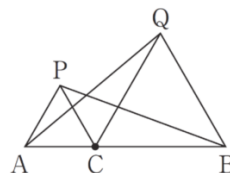
誤答の解答類型をみると、無解答率が30.2%と高く、証明することについて、何を記述すればよいか分からなかった生徒が多かったことがうかがわれる。

解答類型5の、 $AQ=PB$ （結論）を仮定として用いている割合が12.5%と多くみられることから、証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現することが不十分であると考えられる。

また、解答類型99（21.7%）には、2つの線分が等しいことを証明するために、着目すべき合同な三角形とは異なる三角形の辺や角について記述していることから、 $AQ=PB$ を導くための方針を立てることができていないことがうかがわれる。

(1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ=PB$ になると予想しました。

桃子さんの予想した $AQ=PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ=PB$ になることの証明を完成しなさい。



【正答の条件】

次の(a)、(b)、(c)、(d)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの

- (a) $AC=PC$
- (b) $CQ=CB$
- (c) $\angle ACQ = \angle PCB$
- (d) $\triangle QAC \cong \triangle BPC$

証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるようにする。

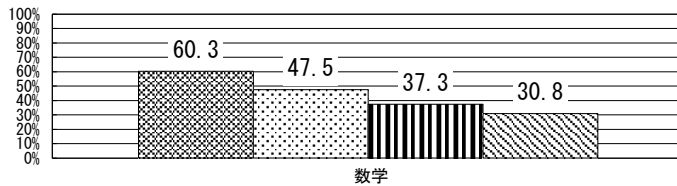
「令和6年度【中学校数学】報告書」P.74-75の学習活動例参照

生徒質問調査×正答率クロス集計

質問番号	質問事項
(55)	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

- ☐ 1. 当てはまる
 ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる
☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 4. 当てはまらない



問題解決の過程を振り返って、大切だと思った考え方や解決方法を、生徒が自覚できるようにしましょう。

大問6 授業アイデア例より

振り返り

正三角形を他の正多角形や空間図形に変えても、文字で表すことで、○に入れた整数の和と□に入る整数の和との関係が同じように説明できることが分かった。

振り返り

正多角形はいつでも2倍だけど、空間図形はいろいろな場合があった。○から出ている辺の数と何倍になるかが関係していそうだから、さらに調べてみたい。

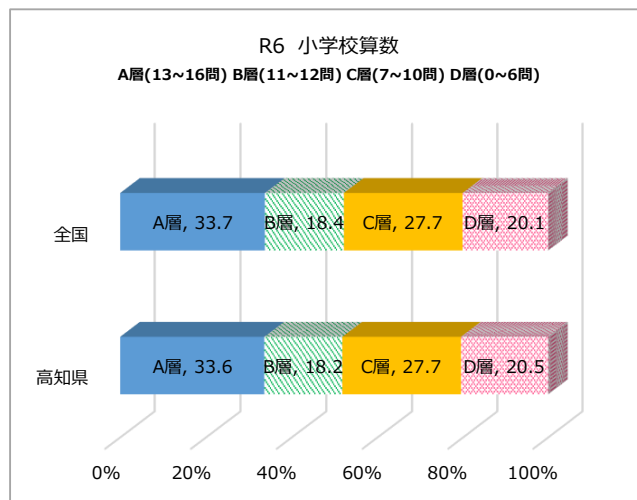
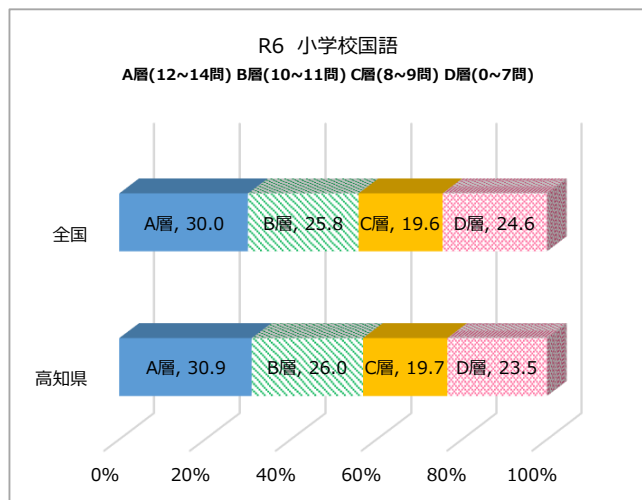
「令和6年度【中学校数学】報告書」P.45-46 大問6 授業 アイデア例参照

- 「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の質問に肯定的な回答をした生徒の方が数学の平均正答率が高い。
- 生徒があきらめずにいろいろな方法を考えられるようにするために、解決の見通しをもつ場面や、他者からいろいろな解決方法を知る場面を設定することが大切である。そのうえで、生徒が問題解決の過程を振り返り、他者の考え方から自分になかった考え方に気付いたり、できるようになったことを可視化したりすることで、成長実感をもつことができるよう、教師は適切な支援を行うことが必要である。

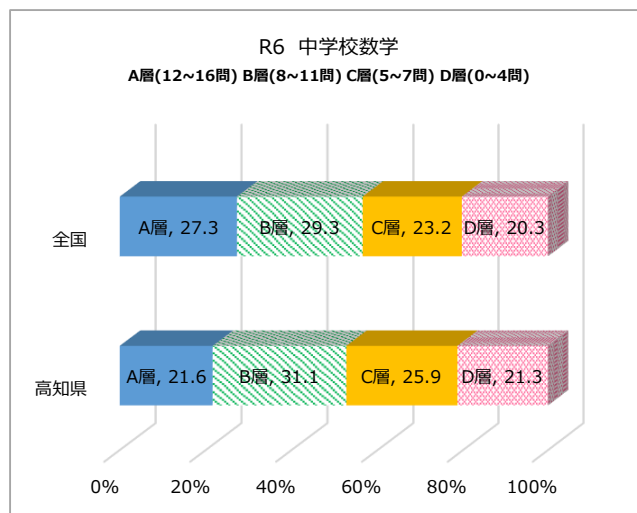
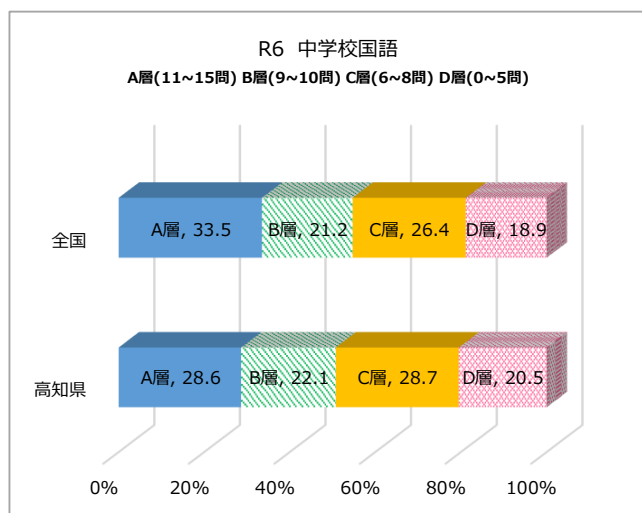
正答数ごとの層分布

正答数ごとの層分布

小学校 国語・算数



中学校 国語・数学



※文部科学省は、児童・生徒を正答数の大きい順に整理し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っている。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層としている。それに高知県の児童生徒の状況を当てはめて、D層の割合を示している。

質問調査

第3期教育等の振興に関する施策の大綱

第4期高知県教育振興基本計画

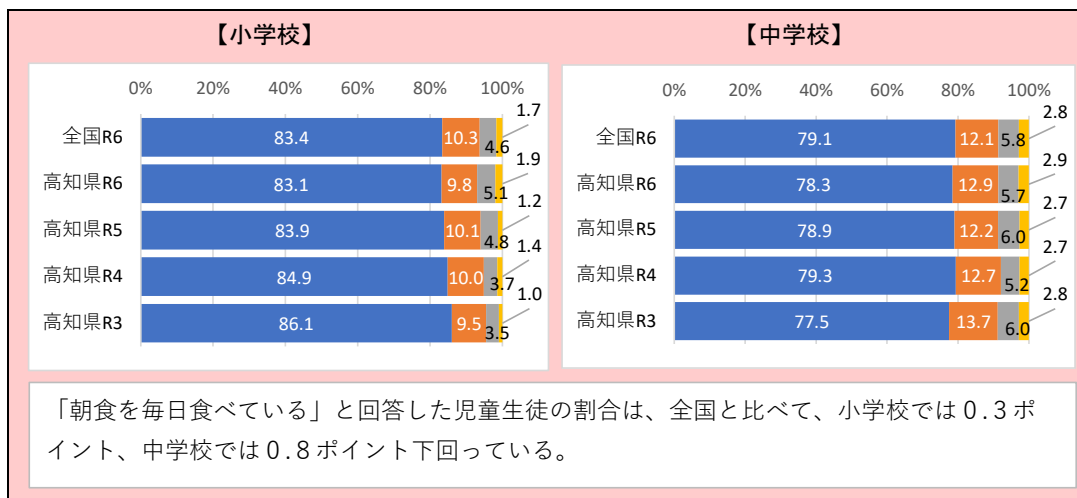
基本目標に関する質問項目

第3期大綱・第4期基本計画の基本目標2の測定指標

児童・生徒 質問調査	(1)	朝食を毎日食べていますか
---------------	-----	--------------

高知県（経年）

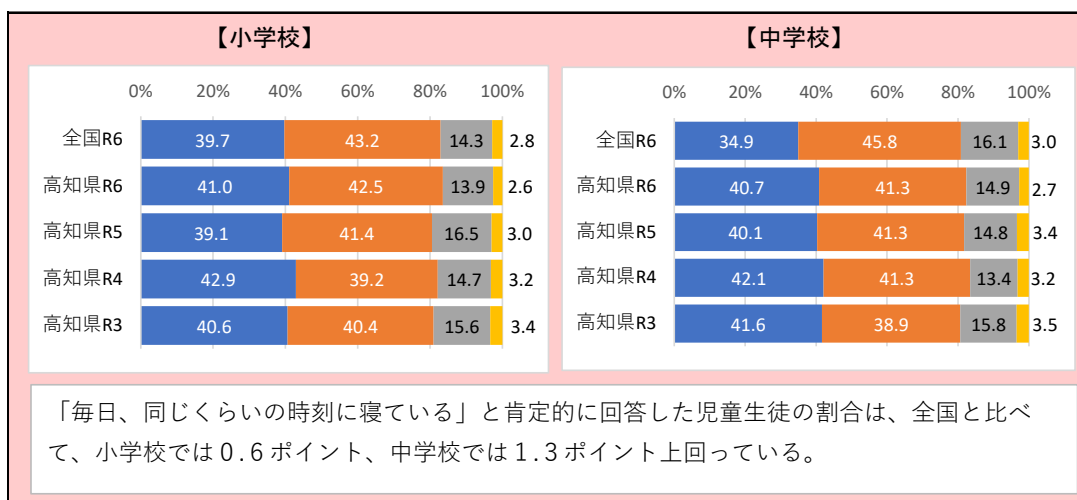
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



児童・生徒 質問調査	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
---------------	-----	--------------------

高知県（経年）

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない

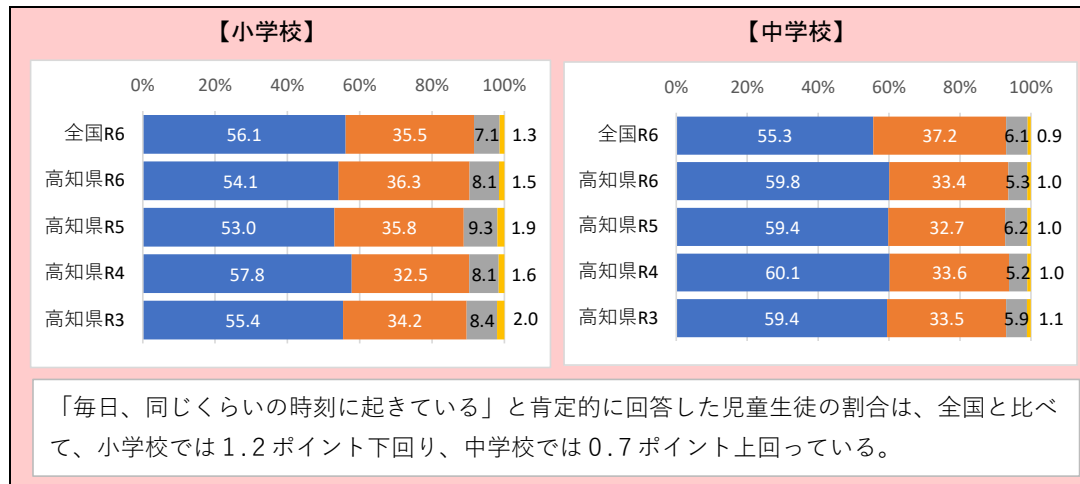


第3期大綱・第4期基本計画の基本目標2の測定指標

児童・生徒 質問調査	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
---------------	-----	---------------------

高知県（経年）

■ している
 ■ どちらかといえば、している
 ■ あまりしていない
 ■ 全くしていない

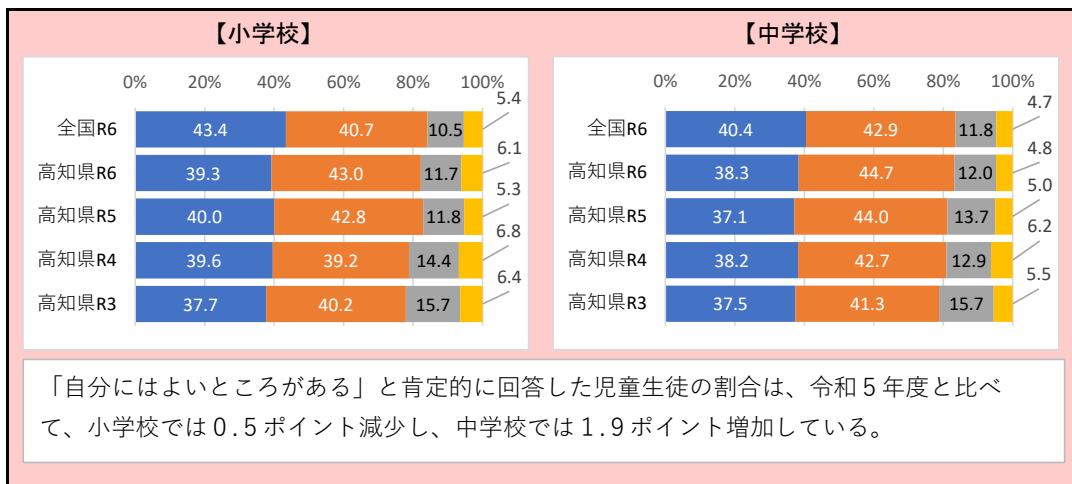


第3期大綱・第4期基本計画の基本目標3の測定指標

児童・生徒 質問調査	(9)	自分には、よいところがあると思いますか
---------------	-----	---------------------

高知県（経年）

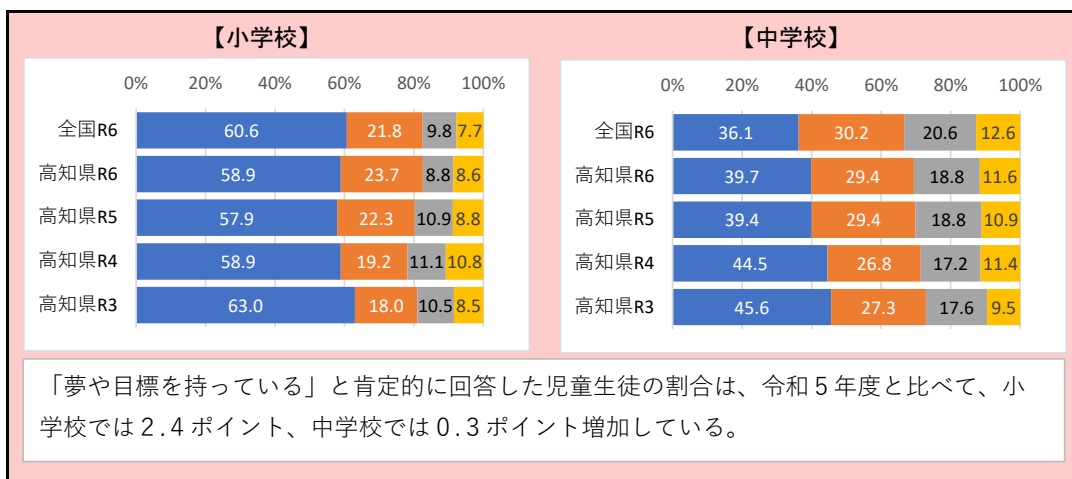
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



児童・生徒 質問調査	(11)	将来の夢や目標を持っていますか
---------------	------	-----------------

高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

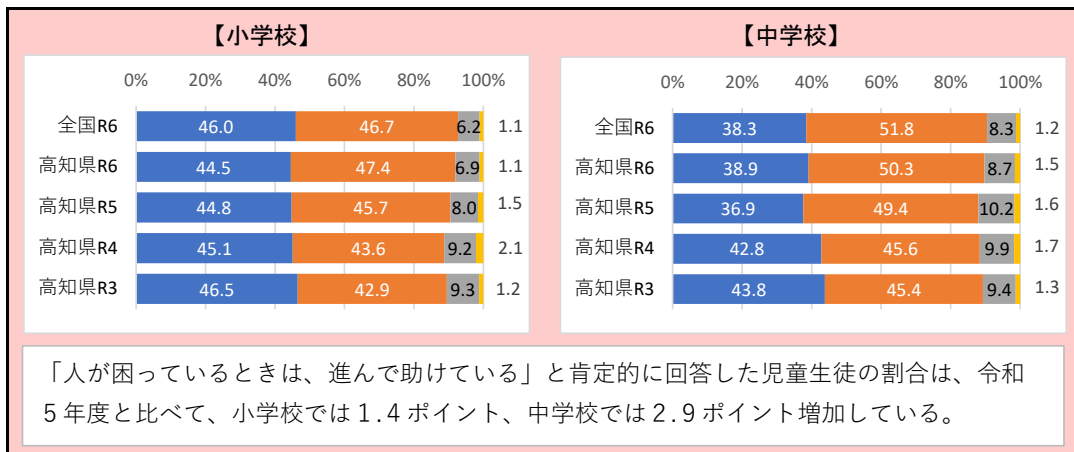


第3期大綱・第4期基本計画の基本目標3の測定指標

児童・生徒 質問調査	(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか
---------------	------	-----------------------

高知県（経年）

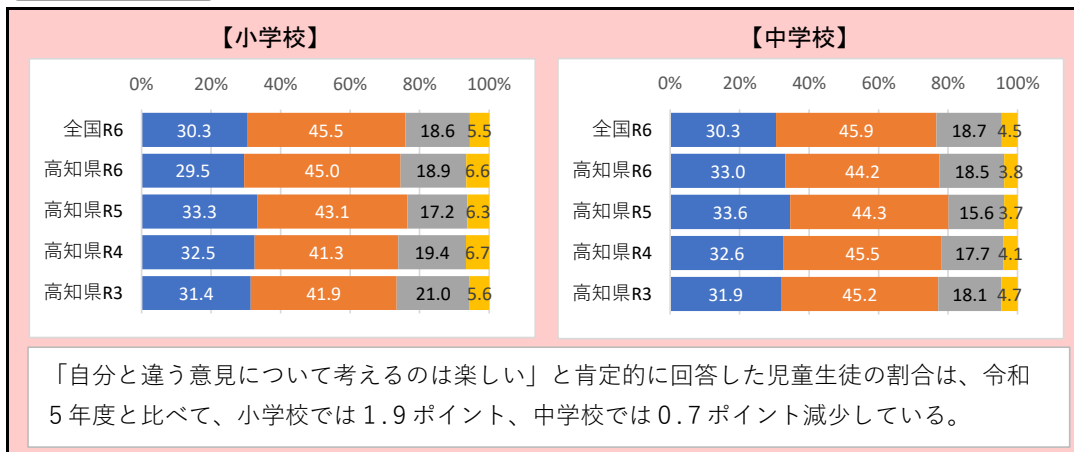
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



児童・生徒 質問調査	(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
---------------	------	---------------------------

高知県（経年）

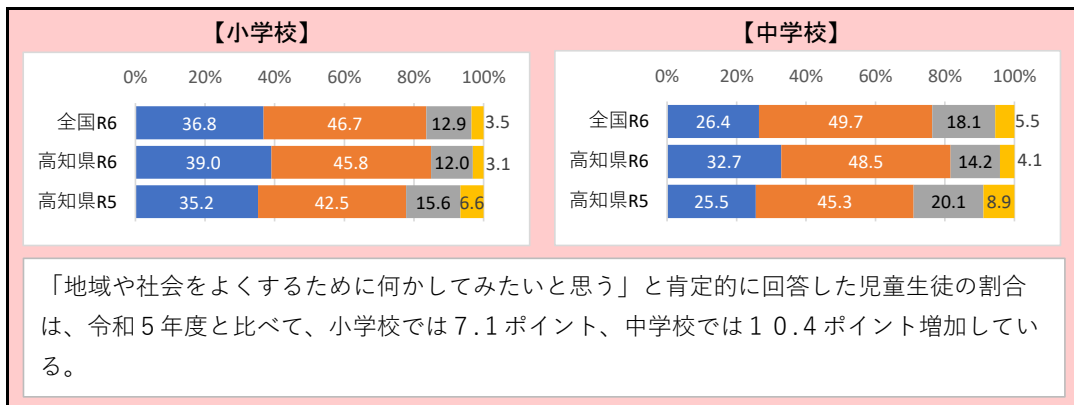
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



児童・生徒 質問調査	(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
---------------	------	----------------------------

高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



質問調査

学校運営に関する状況

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

学習習慣

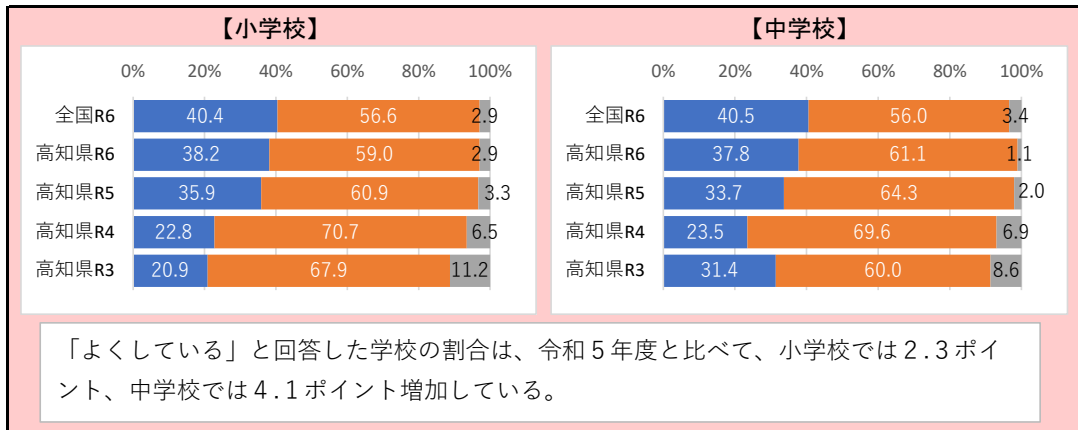
ICT を活用した学習状況

学校運営に関する状況

学校 質問調査	(13)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
------------	------	--

高知県（経年）

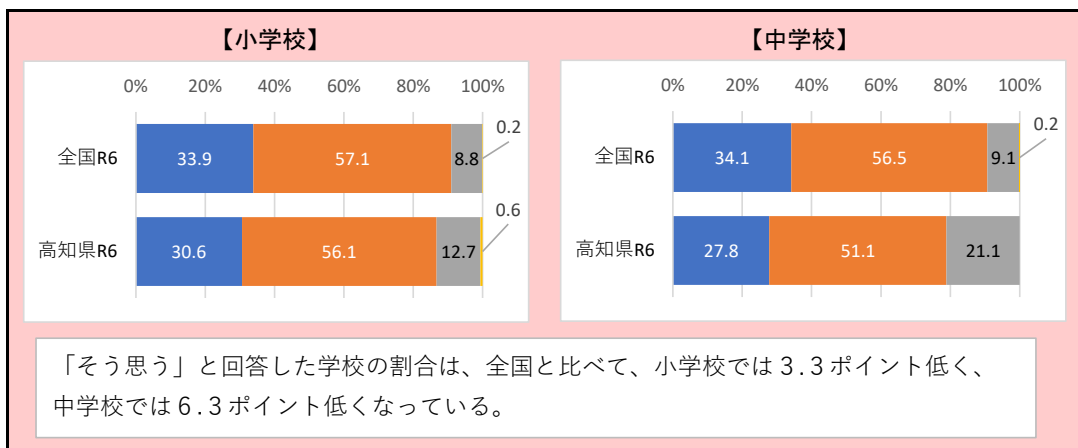
■ よくしている
 ■ どちらかといえば、している
 ■ あまりしていない
 ■ 全くしていない



学校 質問調査	(22)	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか
------------	------	---

高知県（新規）

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない

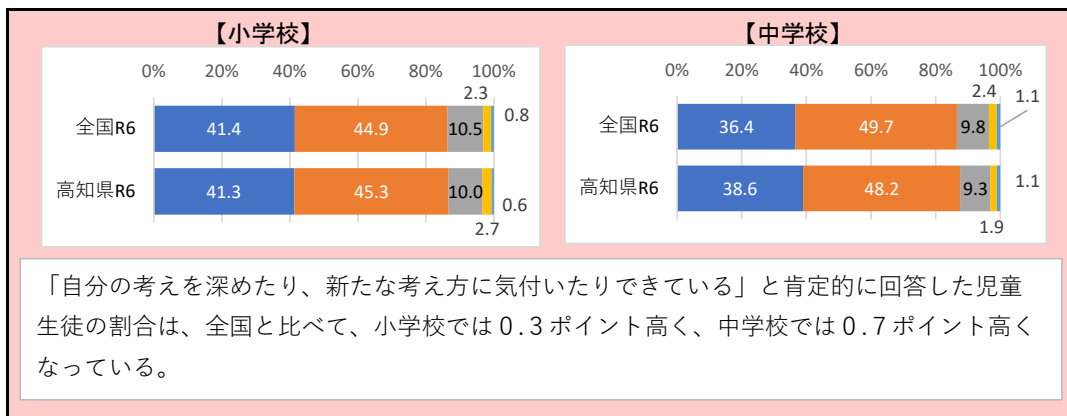


主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

児童・生徒 質問調査	(33)	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
---------------	------	---

高知県（新規）

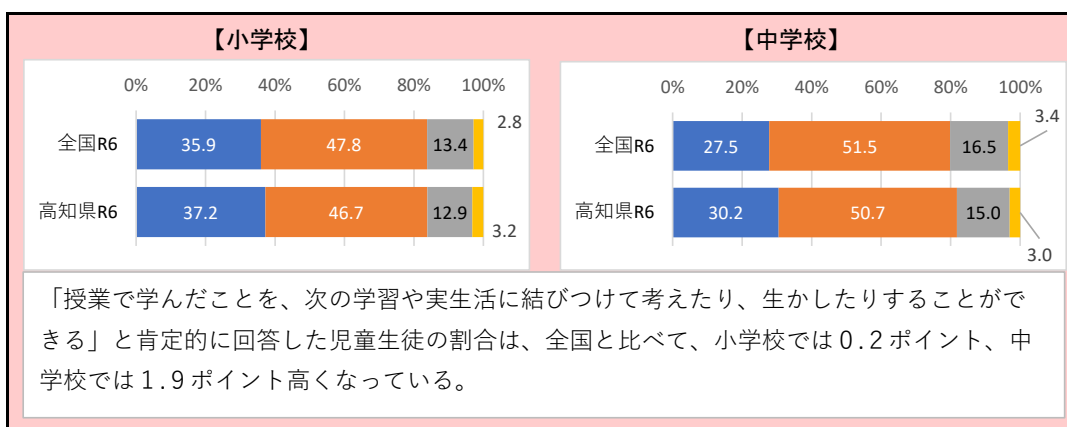
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を行っていない



児童・生徒 質問調査	(35)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか
---------------	------	--

高知県（新規）

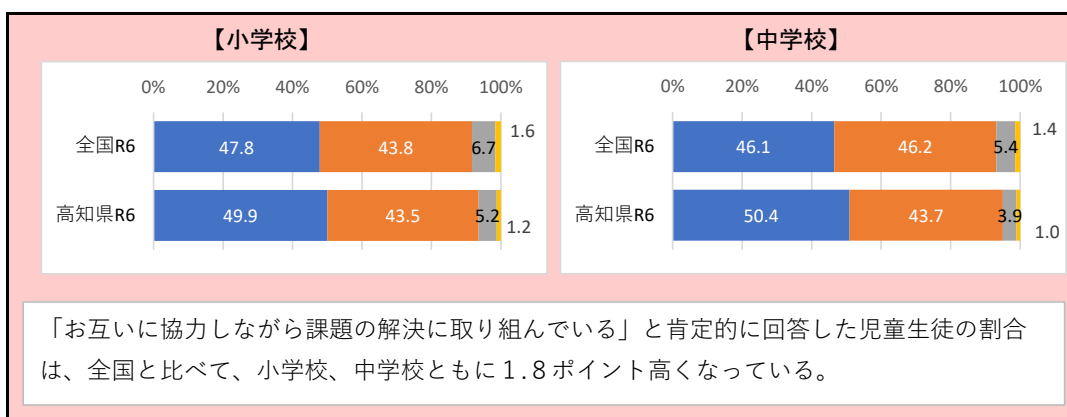
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



児童・生徒 質問調査	(37)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
---------------	------	--

高知県（新規）

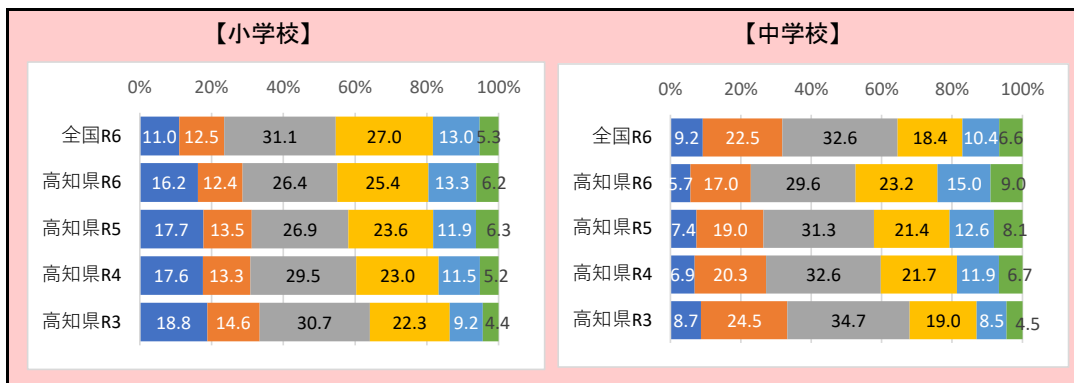
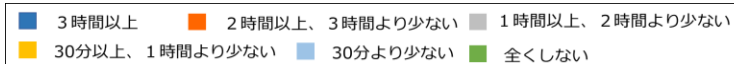
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



学習習慣

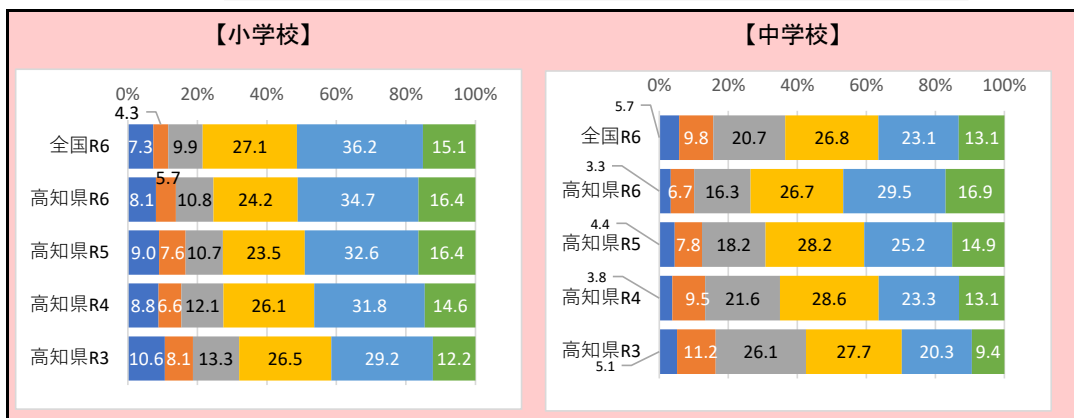
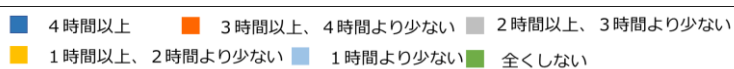
児童・生徒 質問調査	(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
---------------	------	--

高知県（経年）



児童・生徒 質問調査	(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
---------------	------	--

高知県（経年）

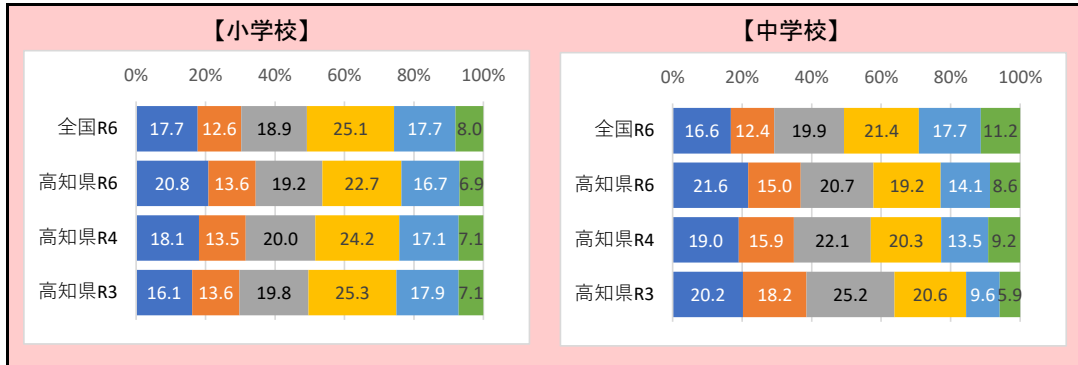
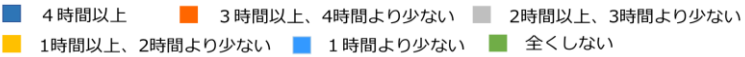


中学校において、平日・土・日とも、1日当たりの勉強時間について、「全くしない」と回答した生徒の割合は、令和5年度より増加している。

学習習慣

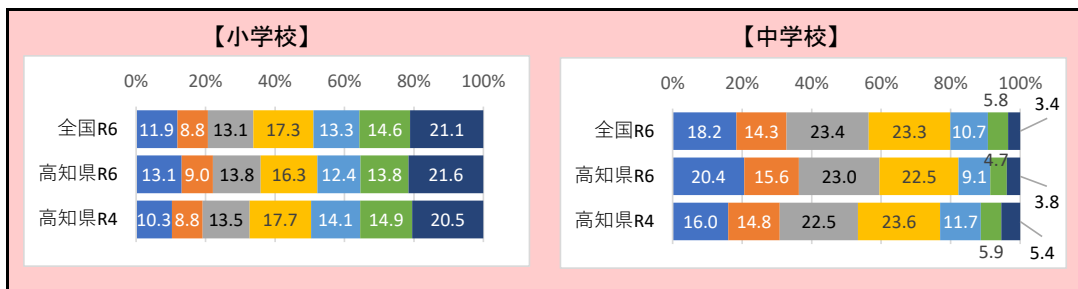
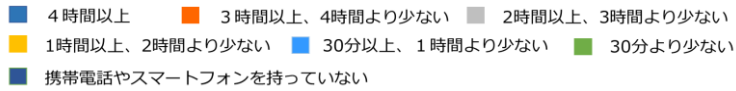
児童・生徒 質問調査	(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
---------------	-----	--

高知県（経年）



児童・生徒 質問調査	(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
---------------	-----	---

高知県（経年）



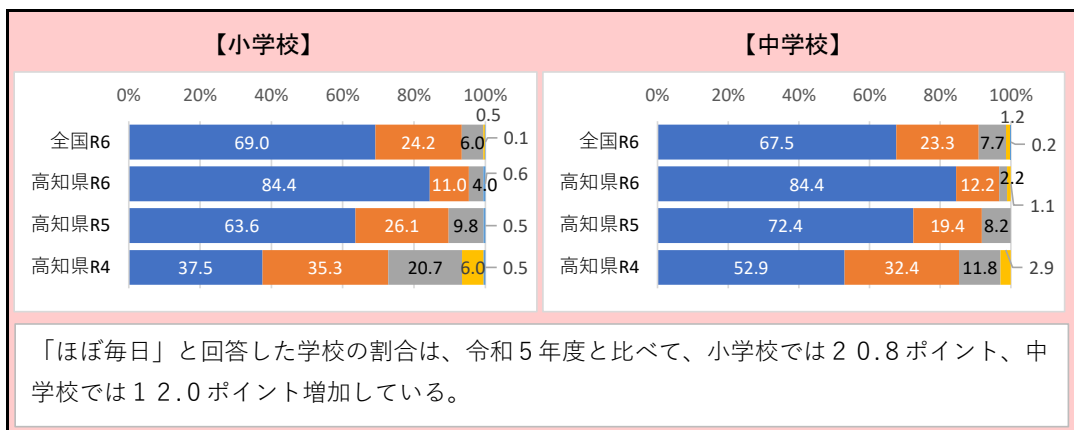
小学校・中学校ともに、1日に4時間以上、テレビゲームやSNS利用、動画視聴をしていると回答した児童生徒の割合が、令和4年度より増加している。

ICTを活用した学習状況

学校 質問調査	(56) (60)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
------------	--------------	---

高知県（経年）

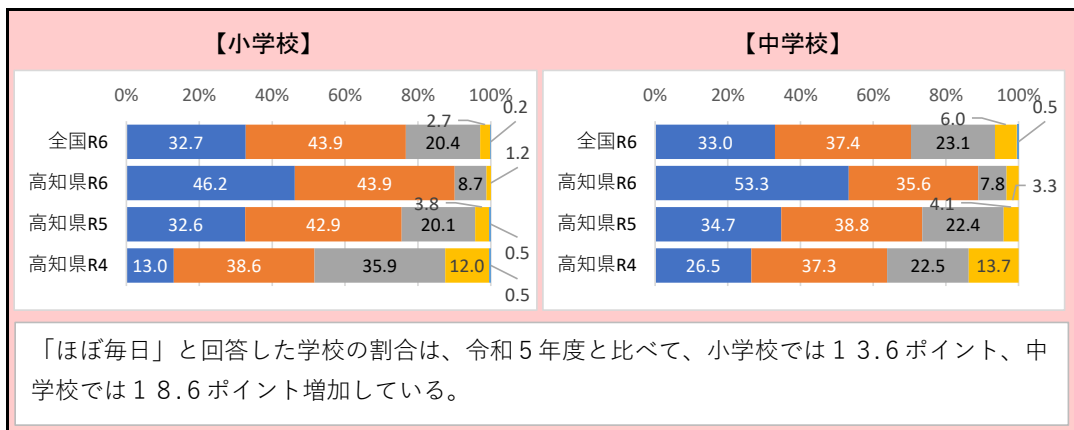
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



学校 質問調査	(57) (61)	調査対象学年の児童（生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
------------	--------------	---

高知県（経年）

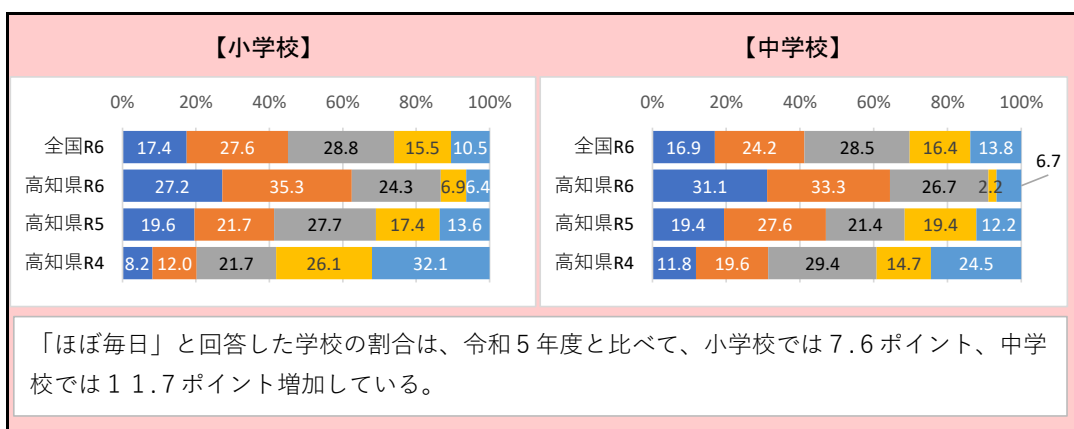
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



学校 質問調査	(60) (64)	調査対象学年の児童（生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
------------	--------------	---

高知県（経年）

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

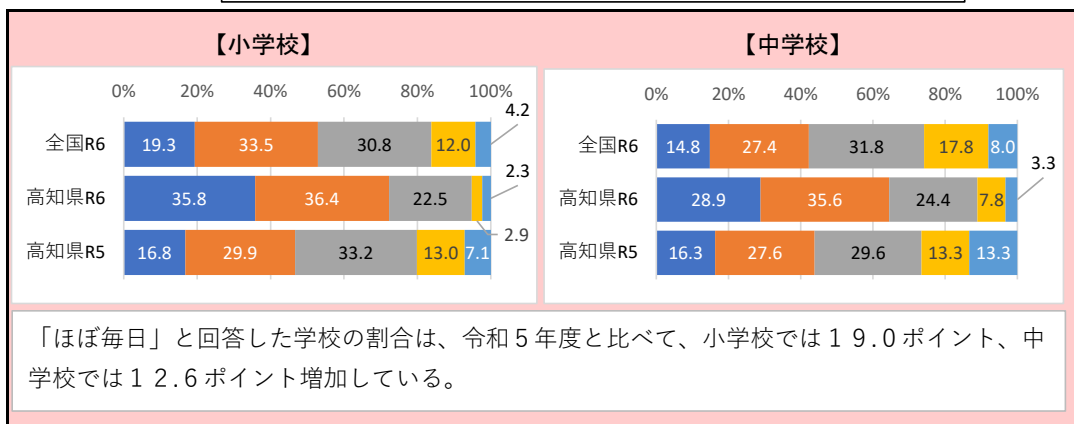


ICTを活用した学習状況

学校 質問調査	(6 1) (6 5)	学調査対象学年の児童（生徒）が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
------------	--------------------	--

高知県（経年）

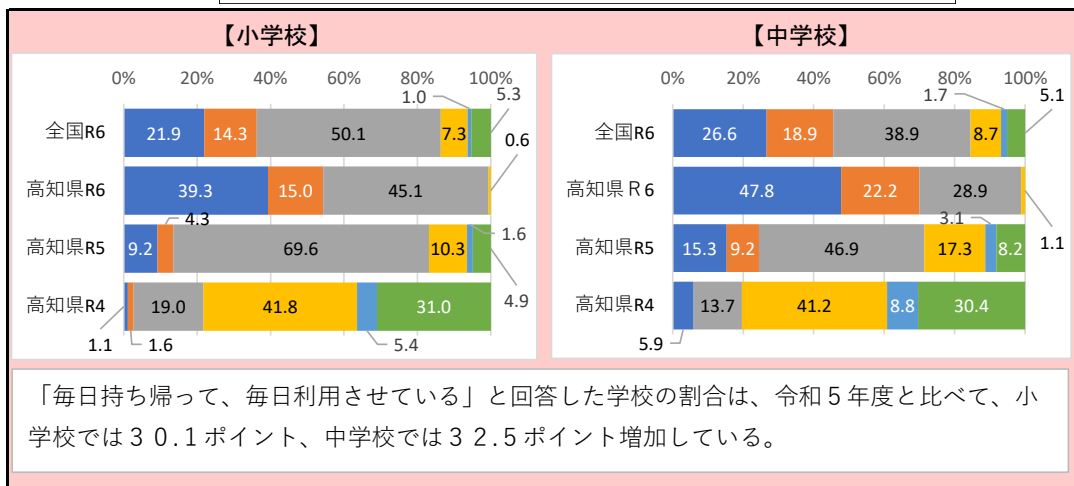
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



学校 質問調査	(6 4) (6 8)	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか
------------	--------------------	--

高知県（経年）

■ 毎日持ち帰って、毎日利用させている ■ 毎日持ち帰って、時々利用させている
■ 時々持ち帰って、時々利用させている ■ 持ち帰らせていない
■ 持ち帰ってはいけないこととしている ■ 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

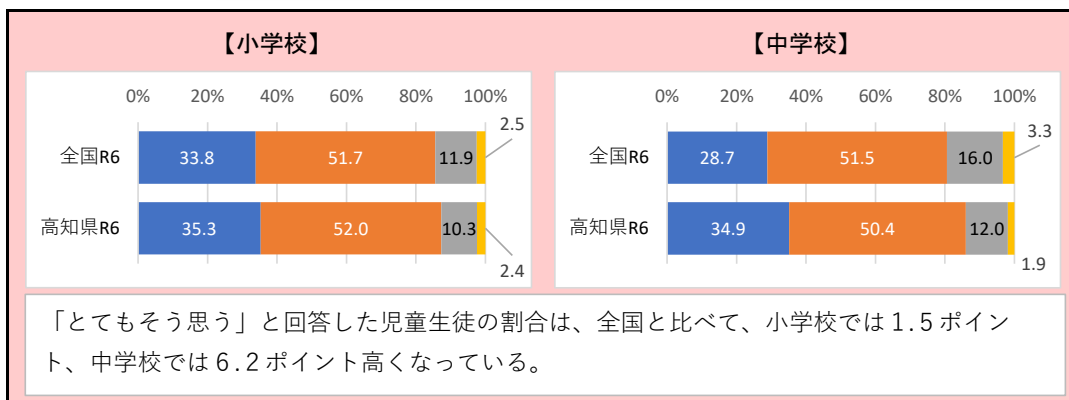


ICTを活用した学習状況

児童・生徒 質問調査	(28-1)	5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
---------------	--------	--

高知県(新規)

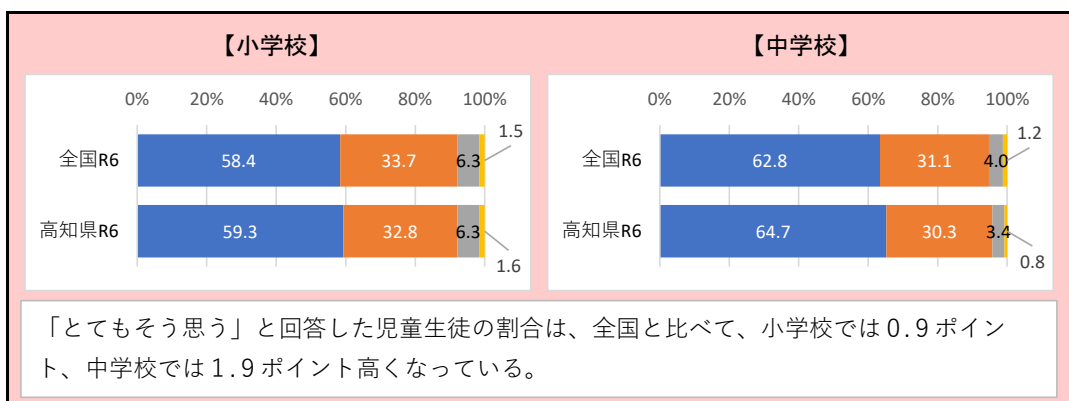
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



児童・生徒 質問調査	(28-2)	5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
---------------	--------	--

高知県(新規)

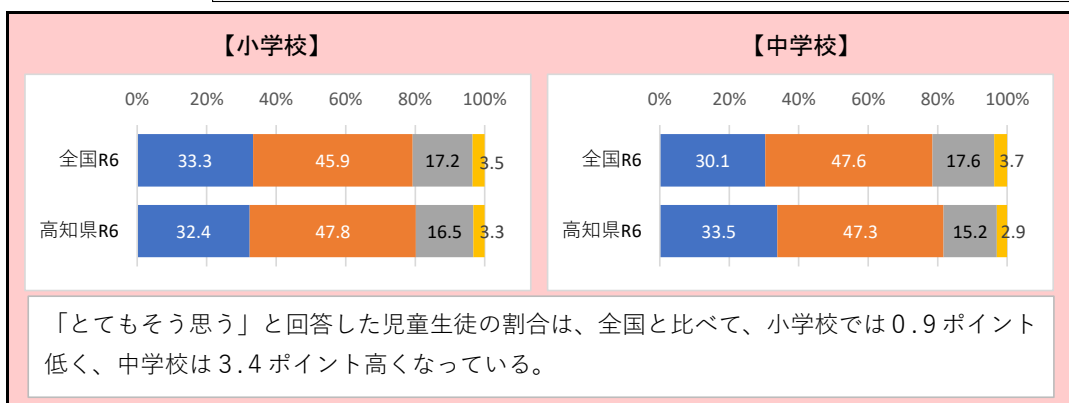
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



児童・生徒 質問調査	(28-5)	5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
---------------	--------	---

高知県(新規)

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



ICTを活用した学習状況

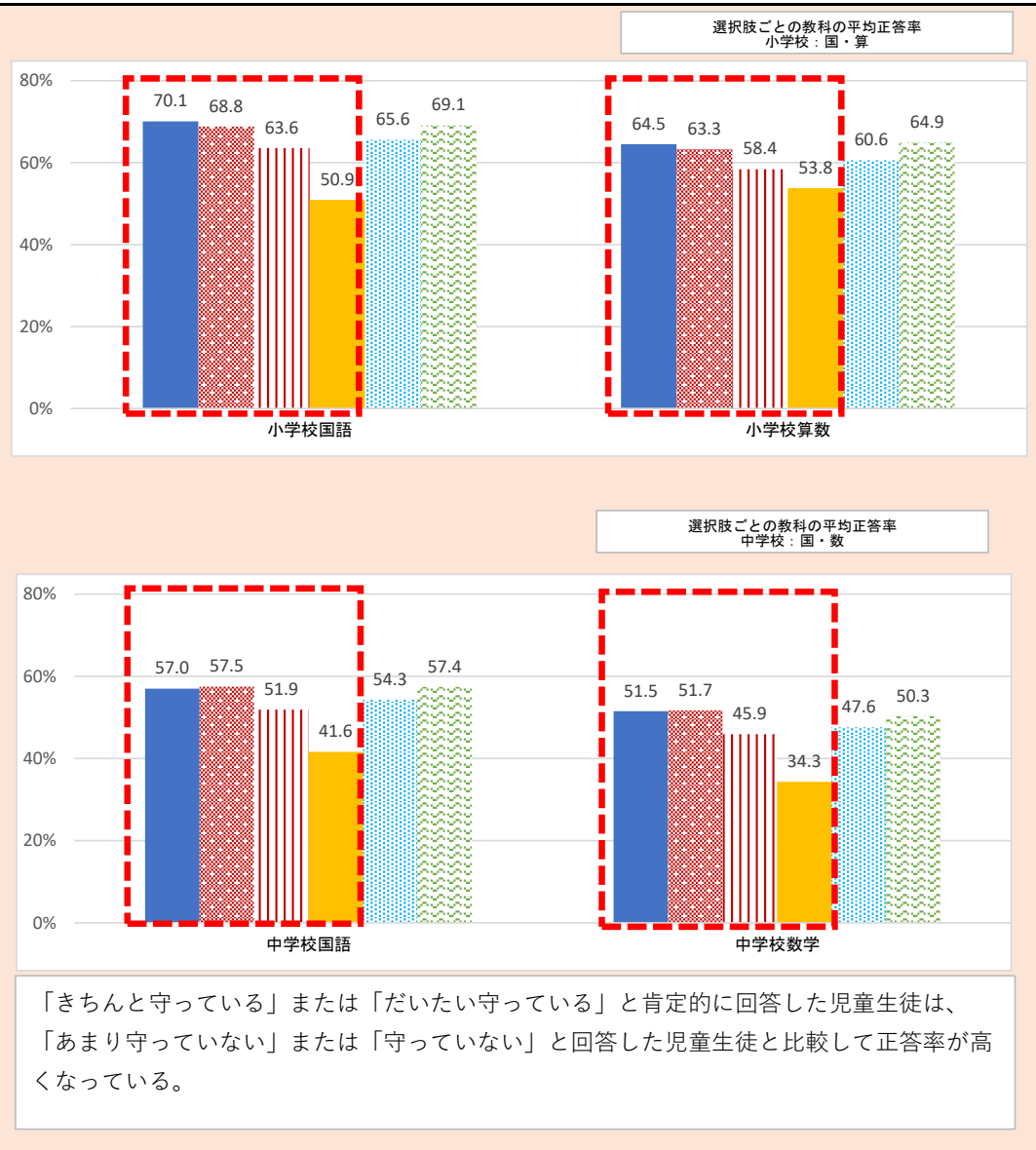
児童・生徒
質問調査

(7)

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

令和6年度調査結果から見られた質問項目(7)と正答率との相関

■ きちんと守っている ■ だいたい守っている ■ あまり守っていない ■ 守っていない
■ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない ■ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない





令和6年度 高知県教育委員会事務局小中学校課の取組

組織づくり

○学力向上のための学校経営力向上支援事業

学力調査等で明らかとなった学力課題を解決し、児童生徒の生きる力を育成するため、中長期的な視点に立った学校経営計画に基づいて学力向上に向けたPDCAサイクルを確立し、学校の組織力向上を図る。

○組織力向上推進事業

小学校教科担任制及び中学校における教科のタテ持ち等による授業改善への取組を一体的に捉え、小・中学校の円滑な接続を図ることにより、義務教育9年間を見通した指導体制を構築する。

授業づくり

○学力向上検証サイクル確立事業

学力調査等の結果から明らかになった学力についての課題の改善状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善を図る。

○「令和の授業を創る」推進プロジェクト

「令和の日本型学校教育」をに向けて、継続的に授業改善する風土を構築していくための人材育成を支援する。個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた学習者主体の授業づくり講座を実施することで、深い学びの実現を図る。

○英語教育強化プロジェクト

言語活動を中心とした4技能（聞く・話す・読む・書く）統合型の授業への転換と、ICTを活用し、授業と家庭学習のサイクル化による基礎基本の徹底により、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

○言語能力・情報活用能力育成プラン

学校図書館を活用した授業を推進することで、学習の基盤となる言語能力と情報活用能力の向上を図る。

○理科教育推進プロジェクト

児童生徒の理科の知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度を育成するために、理科の中核教員を養成・育成し活用することで、授業の改善・充実を図る。また、生徒の科学への興味・関心等を高めるために、科学の甲子園ジュニア高知県大会を開催する。

○ICT活用力向上事業

1人1台タブレット端末やデジタル教材を活用した授業イメージをつかみ、問題解決に主眼を置いた授業改善と、授業と授業外学習を切れ目なくつなぐシームレス化を推進することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

地域連携

○道徳教育実践力向上プラン

「考え、議論する道徳」の授業の充実と、地域ぐるみの道徳教育の推進により、児童生徒の道徳性の向上を図る。

○キャリア教育強化プラン

小・中・高等学校を通じたキャリア教育を推進するとともに、各地域の特色を生かしたキャリア教育を支援し、児童生徒のキャリア発達を促す。

○探究的な学び推進事業

地域の教育資源「人・もの・こと」に関わり、探究的な学びを通して、よりよく問題を解決していく児童生徒の育成を目指す研究や実践の充実を図るとともに、ふるさとを誇りに思う心を育む。

○放課後等における学習支援事業

小・中学校における放課後等学習支援員の配置の支援を行うことで、放課後等の補充学習を充実させ、基礎学力の定着や家庭学習習慣の確立を図る。